

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 024	提案機関名 農業技術センター 横浜川崎地区事務所
要望問題名 いちごの炭疽病発生を軽減する資材の効果確認	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 施設いちご経営では、炭疽病の発生が収量の確保に大きな影響を及ぼす要因の1つである。 育苗時に苗の地際に設置し、土の跳ね返りを防ぐことにより、炭疽病を予防する資材を管内農家が開発し、平成24年9月に特許を出願した。 そこで、その防除効果確認をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	イチゴ炭疽病の場合、鉢土の跳ね返りによる感染・発病だけを対象にした試験は、これ以外に雨水やかん水時の水しぶきなどによる二次感染の被害があるため、難しいと考えます。効果を検証するため現地で、本資材を使用した区と使用していない区を設定していただければ幸いです。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			